

ゴルフ関連施設からコロナを一掃? 「業界活性化商品」という考え方

毎

年、新しいゴルフクラブが発売され、それを売り続けることが業界のビジネスモデル。ところが二木ゴルフでは、使用中のクラブを末永く愛用してもらうためのケアサービスに本腰を入れ、厚い利益を獲得中。

「最初は販売スタッフに浸透させるのが大変でしたが、今は積極的に取り組んでいます」

同社の北條圭一取締役が話すのは、アドウェルのガラスコーティング剤『ハドラス』のこと。8月下旬に施工実績が10万件を超え、スマホへの施工依頼も現れている。先頃、つるやゴルフでの扱いも始まり、アドウェルの富山暁社長によれば供給先は1000店を超えたとか。

その余勢を駆って9月、二木ゴルフを皮切りに抗菌・抗ウイルスの『ハドラス』を展開したのだが、新たな別の『ハドラス』を従来とは異なる手法で業界に提案するという。富山社長いわく、

「正直、利益は出ませんが、業界活性化のために利益度外視で提案したい」

何をするのか? 同氏との一問一答をどうぞ。

まず、抗菌・抗ウイルスの『ハドラス』の状況は?

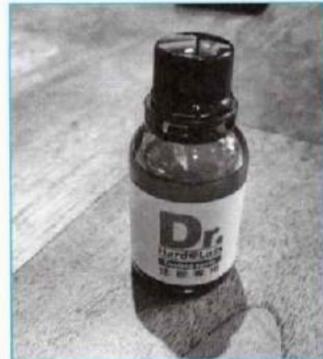
「現在は二木ゴルフ全店、ゼビオグループの一部店舗で展開中です。従来の『ハドラス』とは異なり、来店客のスマホやタブレットへの施工を提案していて、お客様からの評判は上々と聞いてます。今後は施設への施工を目的とした抗菌・抗ウイルス・防汚の『Dr. ハドラス』を、BCP対策として提案したいですね」

BCP対策とは?

「BCPはBusiness Continuity Planningの略で、事業継続計画という意味です。災害などの緊急事態時に事業を継続するための対策で、ウィズ・コロナ時代において企業に求められる要件になります」

肝心の抗菌効果にエビデンスは?

「SIAA(抗菌製品技術協議会)という第三者機関の試験を経て、効果が認められています。試験は国際基準ISO21702、ISO22196に準じて行われています。」



ゴルフ関連施設に提案する
『Dr. ハドラス』

今後はゴルフ販売店、ゴルフ場、練習場、インドアスクールなどに『Dr. ハドラス』を提案します。ゴルフ場の場合は乗用カートのハンドルや貴重品ロッカーに施工するシーンが想定できますが、施工施設にはSIAA認定の施工証明書や施工済みシールを貼ることができるため、お客様や従業員の安心・安全に寄与します」

施工作業は誰がやるのか?

「当社の事業的な立場から言うと、専任の施工業者を派遣して『施工料』を頂くのが本来の形ですが、そうすると施設側のコスト負担が増えるので、コーティング剤のみを購入してもらい、施設の従業員が塗布する形で提案します」

それだと御社に施工料が入らない。

「はいその通りです。当社は製造元から『Dr. ハドラス』(1万5000円/1本)を仕入れて施設に売るだけ。1本20mlですが、0.3mlで1mは塗布できるうえ、一回につき5年ほどもつので頻繁には売れないでしょう。正直、利益にはなりませんが、これがゴルフ施設に広まれば業界一丸でウイルス対策をしていると譲るんじゃないですか」

既に実施している施設はあるのか?

「二木ゴルフ本社および全店、南海ゴルフでの導入が決まりました。今後も継続的にゴルフ関連施設に導入を勧めていきます」

これが全国的に広がれば、『ハドラス』の知名度は一気に高まるはず。

(大矢)